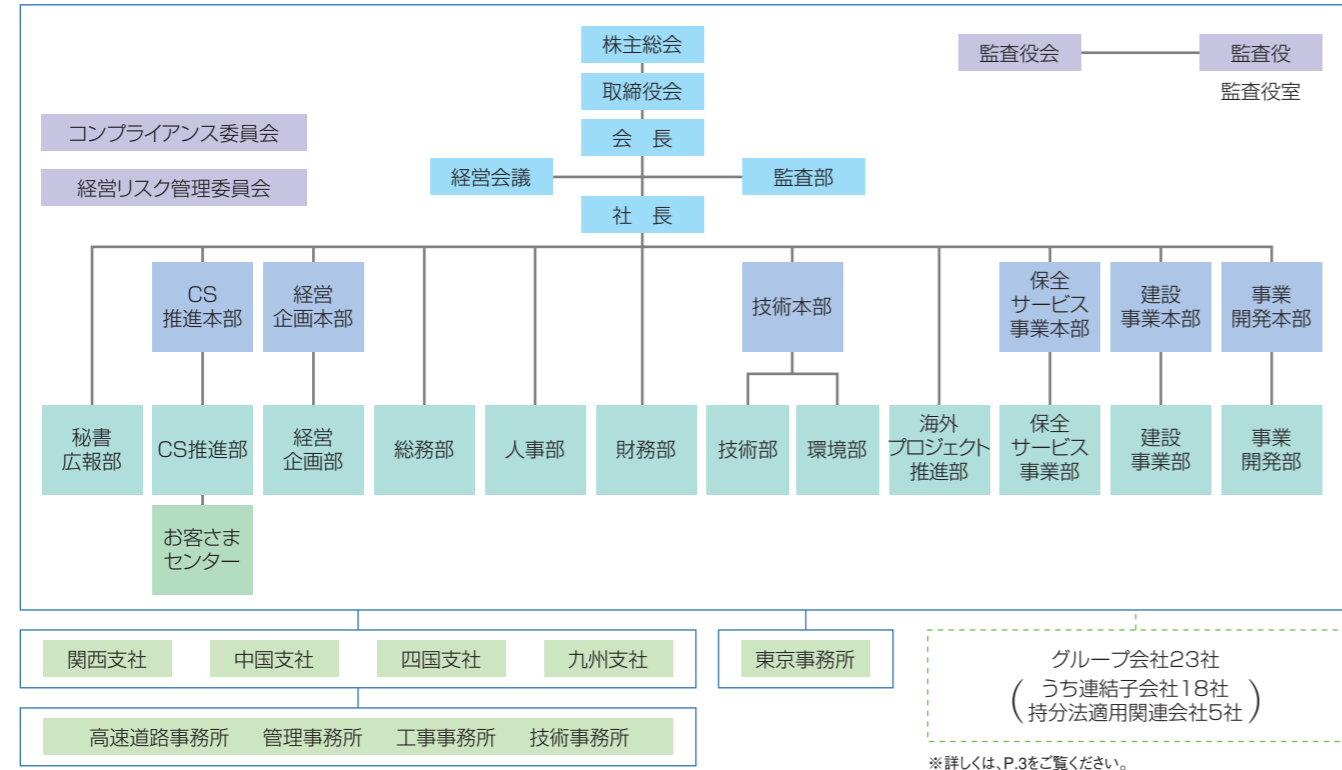


NEXCO西日本グループの概要

業務執行体制

2009年7月1日現在



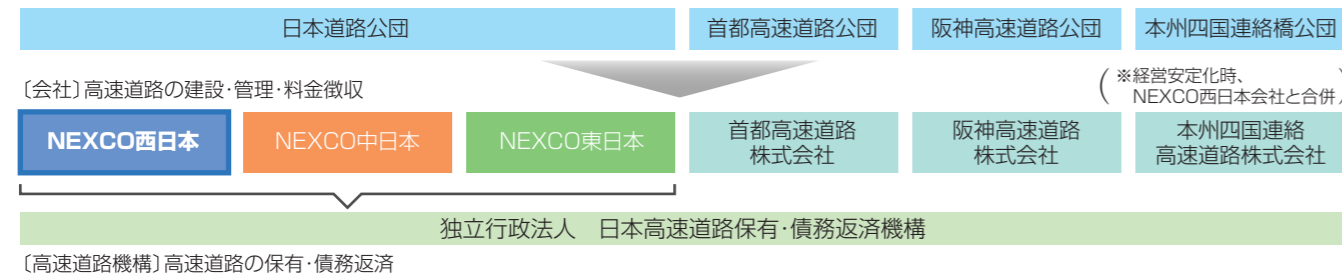
民営化の概要

NEXCO西日本は、右の3つを目的とする旧道路関係4公団民営化において、旧日本道路公団 (JH) の3分割により2005年10月1日に設立されました。

なお、道路関係4公団は下図のとおり、高速道路資産を保有し、その債務の返済を実施する独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 (以下、高速道路機構) から、高速道路資産を借り受け、運営管理を実施する6会社に分割されています。

民営化の目的

- 旧道路関係4公団合計で、約40兆円にのぼる有利子債務を確実に返済すること。
- 必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担のもとで建設すること。
- 民間企業のノウハウを発揮し、多様で弾力的な料金設定を実現し、お客さまに多様なサービスを提供すること。

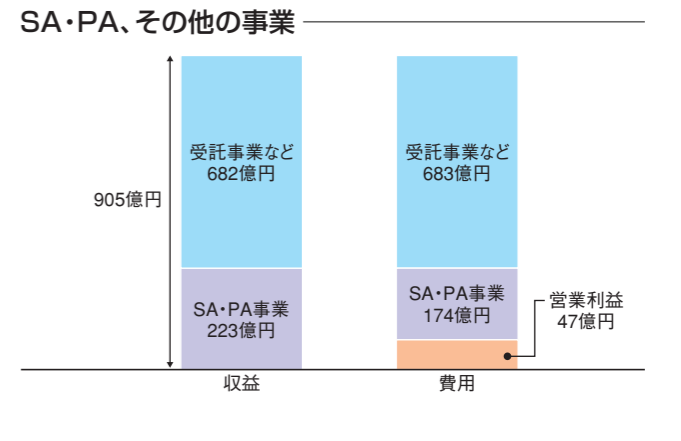
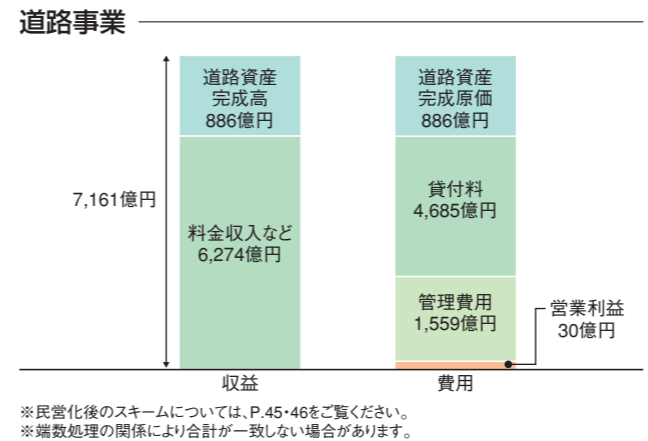


財務状況

道路事業とサービスエリア・パーキングエリア (SA・PA)、その他の事業に会計を区分しています。2008年度は、道路事業において、料金収入などからあらかじめ定められた高速道路機構への貸付料や必要な管理費用を支出し、営業利益は30億円でした。

SA・PA、その他の事業においてはSA・PAでの営業、駐車場事業のほか、国からの受託事業などがあり、営業利益は47億円、全体では営業利益が78億円、当期純利益は58億円でした。

2008年度連結損益計算書



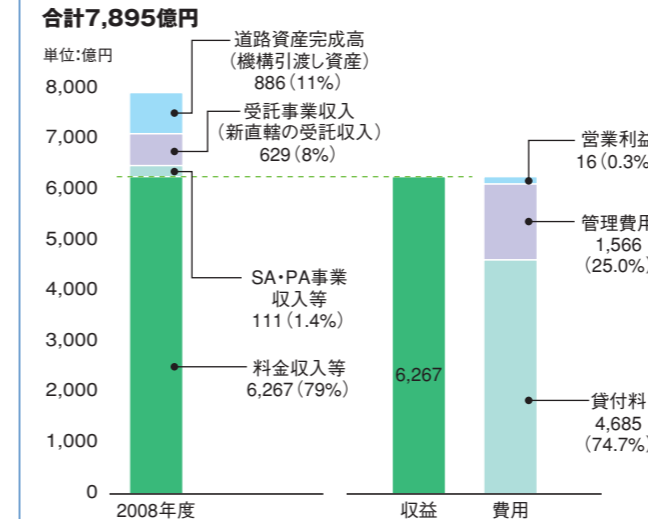
着実な賃借料の支払い

当社の収益と費用

- 全体収益 (単体)
- 収益の8割が高速道路の料金収入

高速道路管理事業の費用構成

- 料金収入の約3/4を賃借料として機構に支払い
- 残る約1/4で適正な道路管理を実施



着実な賃借料・納税等の支払い

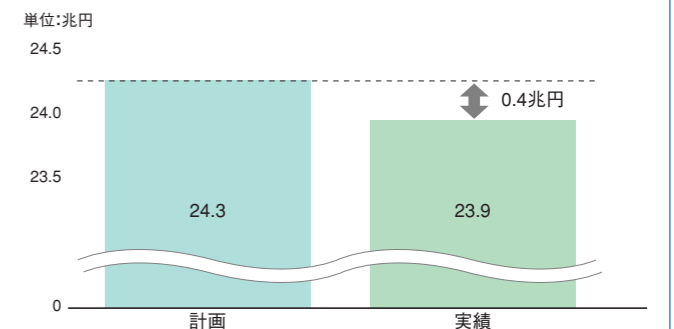
民営化後の3年半でNEXCO3社合計で約5兆円の賃借料を機構に支払い。さらに726億円の法人税等を納付、株主 (国) への配当原資となる利益剰余金を約857億円積立。(民営化直前は旧JHへ年間3000億円の国費※を投入。)
※金利負担低減のための出資金

民営化後の経営状況

	NEXCO3社合計	NEXCO西日本
道路資産賃借料	50,267	16,687
法人税等	726	229
利益剰余金	857	287

※数値は2009年度末までの累計

保有・債務返済機構における債務残高



NEXCO西日本グループの概要

事業概要

道路事業

道路事業については、NEXCO西日本と高速道路機構の間で締結している協定に基づき実施しています。

当社 道路事業(保全サービス): 高速道路機構から借り受けた道路資産の管理・運営を実施し、道路通行料金収入から高速道路機構への賃借料の支払いを行う
道路事業(建設): 道路の建設、高速道路機構への道路資産・債務の引渡しを行う

高速道路機構 道路資産を保有、高速道路会社に貸付けを行い、高速道路会社から受け取る貸付料により、道路資産に係る債務の返済を行う

保全サービス事業

高速道路をご利用いただくお客さまに安全・安心と快適を実感していただけるように、24時間体制で道路の情報を収集し、道路・施設設備の点検および調査、清掃、植栽作業、補修、冬期の雪氷作業、橋梁塗装などの維持管理や交通安全対策、防災対策、道路情報の提供を実施しています。また、ライフサイクルコストの最小化が求められる中、老朽化に対応した効率的・効果的な道路管理に取り組んでいます。



営業延長: 3,306km (2009年4月現在)
利用台数: 232万台/日 (2008年度実績)

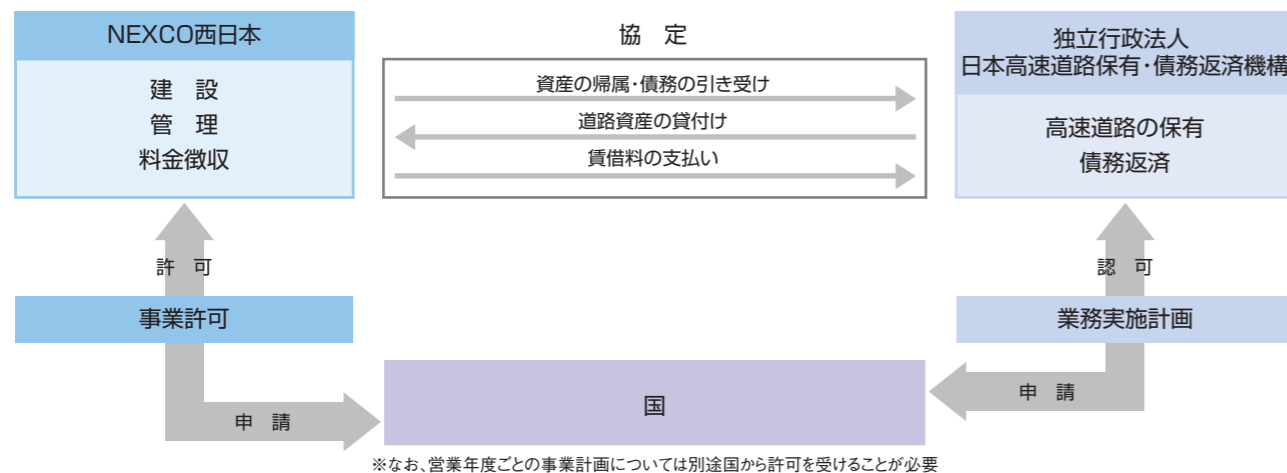
建設事業

地域の発展と暮らしの向上に貢献するため、信頼性の高い高速道路ネットワークを計画的かつ着実に構築します。高速道路を一からつくる際には、まず建設の実施に必要な各種測量や調査・設計を実施します。その後、地元関係者や関係企業、自治体と協議の上で必要な用地を取得し、地域の発展に貢献できる安全・快適な高速道路を建設しています。



建設延長: 228km (2009年4月現在)
(当面、着工しない区間35kmを含みません)

道路事業の民営化後のスキーム



SA・PA、その他の事業

サービスエリア・パーキングエリア(SA・PA)の運営や不動産賃貸業などの新規事業(国土交通大臣への届出が必要)については、NEXCO西日本の経営責任のもとで展開しています。

SA・PA事業

民営化に伴いNEXCO西日本が承継したSA・PAの資産を生かして、お客さまに便利さと新たな満足をお届けします。特に、SA・PAの多様化、サービス向上に注力し、お客さまに安らぎ、美しさ、くつろぎを提供し、お客さま満足度の向上を目指しています。



休憩施設数: SA98カ所・PA191カ所
(2008年7月現在 / 上下線別 / 非承継・第三セクター運営分込み)

※第三セクター運営エリア
地方公共団体(第一セクター)と民間企業(第二セクター)の共同出資で設立される事業体により運営を行っているサービスエリア・パーキングエリアを示す。

その他の事業

トラックターミナル事業、駐車場事業、占用施設(高架下)活用事業、不動産賃貸事業、広告事業などを展開しています。また、これまで蓄積してきた道路の建設・保全に関する技術力の有効活用を目指して、道路事業への技術支援ほか海外事業活動の取り組みを始めています。



不動産賃貸事業: 2カ所、トラックターミナル: 2カ所
占用施設(高架下)活用事業: 128カ所ほか (2009年7月現在)

SA・PA事業の民営化後のスキーム

NEXCO西日本が保有するSA・PA資産(土地・建物)について、100%出資の子会社であるNEXCO西日本サービス・ホールディングス(SHD)に貸付けを行い、その賃料から高速道路機構に連結料の支払いを実施しています。

